

みずほCustomer Desk Report 2016/11/21 号(As of 2016/11/18)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.21 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.25	1.0623	117.10	1.0075	1.2415	0.7403
SYD-NY High	110.95	1.0643	117.51	1.0123	1.2433	0.7418
SYD-NY Low	109.80	1.0569	116.76	1.0062	1.2302	0.7331
NY 5:00 PM	110.92	1.0591	117.51	1.0102	1.2349	0.7338
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.38/13.955		△25RR	0.595	Yen Call Over	

NY DOW	18,867.93	▲ 35.89	債券市場	日本2年債	-0.1650	▲1.0bp
NASDAQ	5,321.51	▲ 12.46		日本10年債	0.0400	2.9bp
S&P	2,181.90	▲ 5.22		米国2年債	1.0678	2.2bp
日経平均	17,967.41	104.78		米国5年債	1.7975	6.1bp
TOPIX	1,428.46	5.38		米国10年債	2.3548	5.2bp
シカゴ日経先物	18,040	▲85.00	為替市況	独10年債	0.2720	▲0.7bp
ロンドンFT	6,775.77	▲18.94		英10年債	1.4550	4.5bp
DAX	10,664.56	▲20.98		豪10年債	2.7190	15.1bp
ハンセン指数	22,344.21	81.33		USD/CNH	6.9054	0.0010
上海総合	3,192.86	▲ 15.60		ドルインデックス	101.21	0.32
USDJPY 3M Vol	12.31	0.28%	商品市況	CRB指数	183.135	0.70
USDJPY 6M Vol	12.44	0.32%		NY金	1,208.70	▲8.20
EURJPY 3M Vol	11.64	0.10%		WTI	45.690	0.27
EURJPY 6M Vol	12.59	0.14%		Dubai Spot	42.47	▲0.76

東京	トランプ次期米大統領と1時間半に渡って会談した安倍首相は会談後、具体的な会談内容の言及は避けたものの、「ともに信頼関係を築いていくことができる。そう確信の持てる会談だった」と発言。ただ、市場への影響は限定的でドル円は110.30レベルで東京時間オープン。本邦輸出勢の円転やポジション調整によるドル売りが意識される状況下、一旦は109.98まで小振れした。しかし、その後は高寄りした日経平均株価がその後も堅調に推移したことや、米10年債利回りが2.3%台まで上昇して推移したことからドル円は堅調な値動きとなり、東京時間高値110.78をつけた。午後は110円台半ばまでの推移が継続し、結局110.72レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.72レベルでオープン。米銀行大手が発表した過去1週間の新興国債券ファンドの資金流入が64億ドルの流出超と、週間ベースの流出超として過去最大を記録する等、ドル買いフローが強く意識される中、ドル指数が2003年以来的の最高値を更新し、ドル円は110.92まで上昇。しかし、エルドアン・トルコ首相が過去最高値を更新したトルコリラ相場について、緊急会合を開催して議論することが伝わり、ドル売りが加速。ドル円はストップを巻き込みながら109.80まで急落。結局、110.10レベルでNYに渡った。ロンドンでは、1.2397レベルでオープン。英住宅金融大手が企業不動産部門の閉鎖を発表すると、1.2383まで下落。しかし、ブロードベント・英中銀副総裁がロンドン相場の下落によるインフレ圧力の高まりが雇用対策を制限しているとの懸念を表明し、英中銀が「ポンド」安を許容しないとの思惑に繋がると、1.2433まで上昇。その後、ブラッド・セントルイス連銀総裁が12月の利上げ支持に傾きつつあると述べると、1.2364まで反落し、1.2371レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0600レベルでオープン。独自動車大手が、国内で2万3000人を削減する計画を発表したこと、1.0584まで売られるも、週末を控えたショートカバーから買い戻され1.0630レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は110.10レベルでNYオープン。朝方は米10年債先物で売りが先行し、米長期金利が反発する中、ドル円は110円台後半まで上昇。発表された米10月先行指数は予想通りの結果で市場への影響は限定的。また、日中行われていたダロリー・ニューヨーク連銀総裁、カプラン・ダラス連銀総裁の講演は米利上げについてのコメントが無かったことから、特段材料視されなかった。その後、米長期金利が再び2.3%台を抜け、2.34%台後半まで上昇するとドル円は110.90付近まで上昇した。週末前のポジション調整も特段ドル売りとはならず、底堅い推移を維持し、高値の110.95をつけた後、110.92レベルでクロスした。一方ユーロドルは、1.0630でNYオープン。ロンドン時間に独自動車大手の大型リストラの報道や、ドラギ・ECB総裁の「テバリング」に対して慎重な発言が伝わったことから、ユーロ売りが強まると昨年12月以来の安値である1.0569まで下落。しかし、この水準では下げ渋り、その後は1.0600を挟んでの推移となり、1.0591レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 下山・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月18日	07:00	米 安倍首相・トランプ次期米大統領会談	-	-
	17:15	欧 ドラギECB総裁講演	-	-
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	10月 0.2%/-0.9%	-0.2%/-1.4%
	19:45	米 ブラッド・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	23:30	米 ジョージ・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
11月19日	0:00	米 先行指数	10月 0.1%	0.1%
	03:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

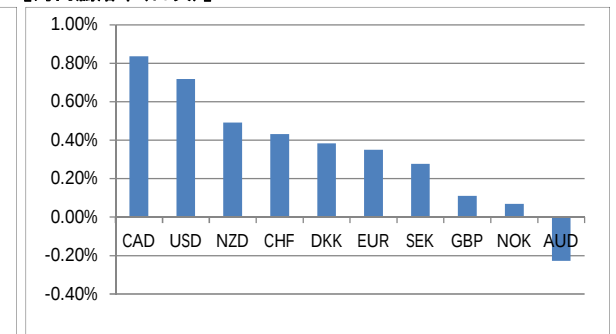
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月21日	8:50	日 貿易収支(調整前/調整後)	10月 ¥610.0B/¥404.3B	¥498.3B/¥349.0B
	13:30	日 全産業活動指数(前月比)	10月 0.0%	0.2%
	22:00	米 フィッシャーFRB副議長 講演	-	-
	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	10月 -	-0.14
11月22日	1:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00—111.50	1.0520—1.0670	116.50—118.50

【マーケット・インプレッション】

前週末の海外市場でのドル/円は続伸した。連日の米長期金利の上昇を受けて主要6通貨に対するドル指数は2003年以来的の高水準まで上昇しており、ドル/円も110円台後半まで上昇した。その後、米10年債利回りの下落に連れる形でドル/円も一時109円台後半まで値を落とすも、米10年債利回りが2.3%台半ばまで再び上昇すると、一時110.95まで上値を伸ばし、結局110円台後半で越えた。本日のドル/円は揉み合う展開を予想。高水準にある米長期金利や米年内利上げ期待の高まりからドル/円は連日上値を伸ばしており底堅さを感じるも、本日はフィッシャーFRB副議長の講演以外に目立った経済指標の発表を予定しておらず、同講演も目新しい材料は出てこないだろう。利益確定のドル売りや輸出企業による円買いも予想され、やや材料感に欠ける中、揉み合う展開となるだろう。